

刊夕 日八十月十



定額 一部全額... 廣告料五割... 印刷所 常盤宮日新聞社

人形劇への提言

和田 精

歌麿や廣重が描き出す一本の線は、悉く幾多の寫生の結晶である。だからその無難作に描かれた線にデッサンの狂ひはない。

多年のデッサンの習練を経たならば、本當の表現派的手法も象徴派的手法も生れては来ない。

寫眞は常にあらゆる手法の根柢をなすものであつて殊に人間を寫し出す人物畫の根柢をなすものであつて...

ノート

電球のワット数を燭光數に直すには〇、八を掛ければよい三十ワットなら二十四燭光といふ計算

リアリズムに終始せよと云ふのではない。若い人形使ひは、先づリアリズムを體得して、而して後、それを土臺として一步を踏み出せと云ふのである。

るのであつて、所謂「味」と云ふものは凡てかくして出て來るのである。

一般に若い藝術家達は、この中間の階程を忘れて、性急に最後の到達に...

これは甚だ考慮するべき問題であつて、人形劇に對するせりふに關しては、現在では全く模索時代である...

人形使ひが、人形を使ひながら、自身でせりふを云ふことは事實上困難なことである。せりふを臺本通り暗記することさへ仲々の仕事である上に、それに合はせて、自ら人形を操ること、非常に長時間の練習を重ねなければ出來るものではない。

そこで、せりふは人形の各役に應じて、夫々専門的に臺本を見ながら朗讀の形で行はれるのが現在の一般である。

然しながら、これで見果して人形使ひと完全に呼吸が合致するかどうかは甚だ疑問である。何故といふに、せりふを受け持つ俳優(と云へるならば)我、自分自身...

【朝】味噌汁—ねぎ、小付、うぐいす豆
【書】ムレツライス
【晚】汁—あられ豆腐、まつたけ炊込御飯

又、仕草とせりふとは何れが主であり何れが従であつてもいけないにか、はらず、人形使ひがせりふを完全に暗記して居ない以上、仕草が遅れて後からついて行く様になるのは必然で、それで何んとなく間の抜け、ちぐはぐな、そぐはな...

その上、子供の人形は子供使ひが自身せりふを云ふことは、前にも云つた通り非常にもむづかしい仕事であり、能なことである。

神佛葬具 造光 平新橋 川本屋 電話三六一

三井タクシー 電話六八五番

貴方の御家庭に 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

磐城セメント會社特約店 久全屋商店 磐城平町五丁目 電話九番九九

9.5 m.m PONY CINE-CAMERA ¥18.00 PROJECTOR ¥17.00 NSHMURAY-YAKUHO TAIRA-2. TEL 3

難波 内科一般 醫學博士 難波陸 看護婦募集 平町大町新川端 電話五〇〇二

開院 五十嵐産科醫院 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町一二 電話三七〇番 (入院應需)

地主と

小作人立會

收穫減を檢見

稻の收穫減を豫想される今日、小作料減免運動が小作人側から地主に對して要求され紛糾するため平町は本十八日各行政區長に宛別取の十五日前に小作人は地主に檢見を要求して双方立會圓滿な協定方を計られる様

買收行惱む

國道鋪裝工事

結局土地收用法か

既報の如く紺屋町より公園下に至る國道延長三百米のコンクリート鋪裝工事は一丁目西角の屈曲緩和を畫るため一部を買潰す同地先市原乾物店との間に價格が纏らず過日縣土木課の近藤技師の來平を待つて小林平土木監督所長は再交渉に入つたが二千圓餘の開きあり結局本十八日市原乾物店主は出福縣へ陳情することになつたが同店の主張は「取こわし新築すれば四千圓程かゝり現在の買入高では千餘圓の缺損となる」と云ふのであるが監督所側でも九坪の土地に對して二千五百圓以上の買收費の支出は難であり亦人夫の關係で工事

示達した

平窪果樹出荷

村果樹組合は本十八日午後一時から同組合共同作業場に於て總會を開き果樹の共同出荷に就いて協議した

の延引を許さない状態なので止むなく土地收用法を用し今月下旬に工事を開始することになるらしい

平第二校

三年連勝

磐女運動會

女兒繼走に

磐城高等女學校の第廿二回運動會は昨十七日午前八時より櫻ヶ岡グラウンドに於て會長正木貞二郎氏の開辭に次いで體育歌を合唱直ちに演技に入り九百の全校生徒が競技に遊戯に激測と躍動した。観衆は場内を埋め盛況を呈したが氣支はれた雨模様のため天候が演技半ばで本降りとなり午前十一時廿分中止し引續き本日午前八時から舉行正午閉會した。因に呼物の郡下小學校女生の百米並に四百米繼走は母校の榮譽を荷つて力走四百米繼走に平第二校と同第三校の間に息詰る接戦を演じてタツチの差で平第二校連勝した。尚同學年代表百米決勝に磐女三年生比佐道子さんは十三秒二の縣大會記録を出した

を呼び最低五圓三十二錢、買馴六圓三十八錢を唱へたが晩秋の高値呼に掃立増を見てゐるので廿日頃まで取引を繼續することになつた

政府米配給

四倉で拂下

四倉信用組合は最近の米價高騰に喘ぐ組合員の爲め政府拂下米を申請中の處去る十六日千百俵が到着したの

四倉信用組合は最近の米價高騰に喘ぐ組合員の爲め政府拂下米を申請中の處去る十六日千百俵が到着したの

△女兒百米決勝
1 植田校小磯静枝 (一四秒四) 2 平第二校鈴木光子 3 湯本入山校齊藤さきみ △同四百米決勝

1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

△同四百米決勝
1 平第二チーム (根岸山野遠 花澤 鈴木) 五十九秒二 (大會新記録) 2 平第三チーム 3 湯本入山チーム 4 高久チーム

村長縣議野崎滿藏氏の輸入説もあり兩派の對立から波瀾を豫想されてゐる

木炭議案可決

郡木炭同業組合から十六日福島市に開催された一道六縣木炭業者大會に提出した營林署國有林の拂下げの際には指名入札されたの議案は満場一致可決された

平驛野球試合

平驛從業員の第七回軟式野球大會は来る廿日午前八時半より平第一小學校々庭で舉行されるが組合せ左の如く決定した因に前回優勝チームは平驛TSチームである

機關庫 平驛
乗務員 TS
車掌所 保線區
西部 平驛
運轉 技
機關庫 春陽
三振 機關庫

平鐵道が優勝

管内軟式野球大會は昨十七日水戸市内球場で舉行されたが遠征の平鐵道俱樂部は左記成績で堂々優勝凱旋した

△第一回戦
平 鐵17 3 水戸運輸事務所
△準決勝
平 鐵8 0 水戸機關庫
△決勝
平 鐵11 1 水戸驛

シネマ週報

△平館 日活黒川彌太郎
△井蘭子主演 オート
「キー」さむらひ「日活

村長縣議野崎滿藏氏の輸入説もあり兩派の對立から波瀾を豫想されてゐる

木炭議案可決

郡木炭同業組合から十六日福島市に開催された一道六縣木炭業者大會に提出した營林署國有林の拂下げの際には指名入札されたの議案は満場一致可決された

平驛野球試合

平驛從業員の第七回軟式野球大會は来る廿日午前八時半より平第一小學校々庭で舉行されるが組合せ左の如く決定した因に前回優勝チームは平驛TSチームである

機關庫 平驛
乗務員 TS
車掌所 保線區
西部 平驛
運轉 技
機關庫 春陽
三振 機關庫

平鐵道が優勝

管内軟式野球大會は昨十七日水戸市内球場で舉行されたが遠征の平鐵道俱樂部は左記成績で堂々優勝凱旋した

△第一回戦
平 鐵17 3 水戸運輸事務所
△準決勝
平 鐵8 0 水戸機關庫
△決勝
平 鐵11 1 水戸驛

シネマ週報

△平館 日活黒川彌太郎
△井蘭子主演 オート
「キー」さむらひ「日活

名物アコガレコンビ作品
瀧口新太郎 花柳小菊主演
演 サウンド「無情の夢」
海江田讓二 月宮乙女主演
演「血吹雪名槍傳」料金廿錢

△世界館 松竹五所平之助
作品 川崎弘子 大日方
傳主演 オールトイキー
「生きとし生けるもの」人
江プロオールトイキー入
江たか子 鈴木傳明主演
「貞操問答」後篇 メトロ
映畫社超特作オールトイ

キーチャイリイラクル
主演「魔の超特急」松竹
トイキーニユース料金卅
錢

平町 人事
結婚 姻
△新町二二 猪狩泰治氏
(二〇〇)平窪村字大内吉田
力子さん(一九)
△東京市四谷區和住町川崎
信雄氏(二六)出町當時東
京市向島區寺島町山口壽
美子さん(一九)

電話至急買度し

平町仲町
銅鐵商 山田文一商店

株式賣買

合資 三共商事
大町 電話三六〇番

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)
病室完備
自炊便有
山内醫院
醫學士 山内亨 吉

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平町町 (電話五八番)
藤田女學校前
自炊の便あり

祖先の時代から

血みどろな抗争

天明の饑饉に端を発す

世にも稀しい部落闘争

宿命的な下三坂

下三坂村白石區長の怪死事件に迄進展するに至つた同部落對立抗争の血みどろな原因は如何に—それは彼等の祖先の時代今から遠く百二三十年前の

天明年間より宿命的に争ひ續けて居る全國にも稀な部落血闘史が判明した

即ち天明の大饑饉に端を発し當時

笠間藩の領地であつた同部落からは饑饉に追はれて土地の百姓が續々離村した爲め笠間藩では是れが對策として加賀金澤藩から小作農五十餘名を下三坂村に移住せしめて農事改殖の計畫に當つた處金澤藩からの移住者(現故區長派の祖先)達は流れる者の

水呑百姓として目され

被疑者の取調べに

平署全力を擧げる

物的證據の擧がらぬ

三坂村區長怪死事件

既報三坂村白石區長怪死事件は苦心捜査の効もなく依然物的證據が上らず結局平署に留置した反區長派六名の口を割る以外に方法がないので平署は去る十六日夜

れ土着の部落民(現非區長派)から「シンヤ」とさげすまれて婚姻その他一切の交際を嫌はれたので自然對立から抗争に迄惡化し事毎に兩部落は衝突するに至つたが現區長派の移住者組は親子代々侮蔑さるゝ

敵愾心に 刺戟されて

刻苦他勵した結果明治の初期廢藩置縣と共に移住者の一門は資産地位共に土着部落民を壓倒して今日に至り現在では村議、區長、青年分團長の要職はいづれも

移住者側の白石區長

派に獨占された處から此事を恨みとする純粹の土着民側である非區長派の一味に依つて今回の事件が展開されるに至つたものであると

搜查激刺の爲め來署した山本刑事課長を中心に協議の結果昨十七日三坂村に殘留した柴警部補、大谷、草野兩刑事に本署引揚げを命じたが愈々被疑者の取調べに全力を擧げる模様である

電報が…

遅れると

窓硝子を破壊

小名の亂暴男

小名濱町上町四八魚商御代龜太郎(三)は去る十六日午後十時頃泥酔して小名濱郵便局に暴れ込み近頃電報が遅れるのは局員が怠けるからだと受付係の窓ガラスを破壊したので同地警察補派出所に引致し取調中

内田鐵相通過

内田鐵相は青森地方視察の爲め本十八日午後十時二十三分平驛着常磐線下り急行で平驛を通過する

豊間虎眼診療

東北生活更新會支部は今回豊間村をトラホーム治療村に指定し本月廿五日から囑託醫

明日の天気 十九日 今夜は北西の風 明日は北東の風 晴曇半す

今晩の部 後六、〇〇 子供の時間 柳家金語樓 後九、三〇 時報 ニュース 明日の歴史 氣象通報 番組豫告 後九、五五 日本棋院秋季東西大手合戦續

明日の部 後六、三〇 基礎ドイツ語 岡山新氏が診療に従事するが期間は二ヶ月の豫定である

石神青年來郡 相馬郡石神村青年團員三十五名は本十八日午前九時自轉車隊を組織して來平、平窪を他を視察の上東京方面に出發した

平商郊外遠足 平商業學校は今十八日秋晴れに恵まれた左記方面へ郊外遠足を試みた

紅葉の雅趣に 旅客の便宜を圖る 深まる秋 谷の秋色 夏井川溪 谷の秋色 益々濃

平裁判たより 小城郡小名濱町字中坪二〇自動車運轉手小出龜吉(三)は去る七月十二日午後三時頃魚類を満載したトラツクを運轉原町より小高町へ向け進行中双葉郡大田村大字鶴谷字大畑地内國道で同村渡邊榮治郎を刎ね飛ばし顔面及胸部に全治一ヶ月の重傷を負はし業務上過失傷害で略式罰金四十圓に處された

警官の待遇改善 警察官退職者を以つて組織する平警友會は縣下各支部と協力して現職警察完の待遇を改善し治安警察の徹底

警友會が猛運動 警察官退職者を以つて組織する平警友會は縣下各支部と協力して現職警察完の待遇を改善し治安警察の徹底

講座武内大造 前七、〇一 朝の修養 報徳講話 佐々井信太郎 前九、〇〇 衛生メモ 前一〇、三〇 家庭講座 「秋の果實の加工と貯藏 塚詰法渡邊實」 前一、二〇 東京大學野球リーグ慶立早明戦神宮球場中継 後〇、〇五 和洋合奏東京和洋合奏團 後二、〇〇 婦人の時間 「紅葉の旅日記を披瀝塚麗水」 後六、〇〇 子供の時間 ラデオ紙芝居「正ちゃん萬歳」鳥廼家勝丸

平警業紹介所報告 同人を求めの方 事務員 卅才迄 中卒 月給卅圓 三助 五〇才迄 住込 五一六圓 食堂女中 廿三才迄 尋卒 住込六圓 女中 卅才迄 尋卒 住込五圓 旅館女中 卅才迄 尋卒 給料面談 農夫 卅才以下 月給十二圓 古物商店員 廿才迄 高小 卅月給八圓 漁業雜役 卅才迄 月給

職を求むる方 事務員 廿四才 甲種商 卅九才 高卒 同 卅一才 高卒 事務員 廿三才 中卒 配達人 廿五才 高卒 給仕 十八才 高卒 自動車助手 廿才 尋卒 同 十七才 高一卒 中等教員 廿八才 女大 卒 硝子商店員 廿二才 高 卒 店員 十九才 甲種商卒 雜役 廿六才 尋四修

農運奉助(三)は今十八日右判決に服罪した

平裁判たより 小城郡小名濱町字中坪二〇自動車運轉手小出龜吉(三)は去る七月十二日午後三時頃魚類を満載したトラツクを運轉原町より小高町へ向け進行中双葉郡大田村大字鶴谷字大畑地内國道で同村渡邊榮治郎を刎ね飛ばし顔面及胸部に全治一ヶ月の重傷を負はし業務上過失傷害で略式罰金四十圓に處された

警官の待遇改善 警察官退職者を以つて組織する平警友會は縣下各支部と協力して現職警察完の待遇を改善し治安警察の徹底



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島征史
(書) 寺島征史

第二百五十三回

運命の星 (一)

「おとわさん、そちらへいきますぞ」

女のそばへ、みだりに近よるものではないとおもつて、その承諾を求めた。

それでも、おとわは、振かへらうとはしない。

「はてな……」

とおもつて芳三郎は、づかづかと寢臺のそばに近づてみるとおとわの枕元、白い敷布が血によごれてゐた。

「おや、おとわさん」

殺されてゐるのではないかと顔を覗くと、おとわは星のやうにすすしい瞳をしてをつた。

「どうしたんです？」

すると、やつとおとわのくちびるは動いた。

「あたし……咯血したのよ……」

「えー咯血？」

「さうよ……もう、もうあたし駄目なんですの……」

芳三郎は、あはてた。

「そ、そんなことあるものか。咯血した位で、駄目なぞと……」

「い、え、パークスが、あ

たしの咯血をみてから、やつて来ないのよ」
「すると、咯血は、けふにはじまつたことぢやないのか」
「さうよ……これで幾度か吐いたわ」



おとわは、寂しくさう云つて枯葉のやうな手をのびして、亂れた髪に觸れてみた。

「でも、よくだづねてきてくださったのねえ」
芳三郎は、變り果たおとわの容姿に、こころを暗くしながら

「パークスめ、あれから一遍もやつて来ないのか」
「え……でも、この支配人やボーイたちによへ云ひつけてあるとみえて、随分親切にして呉れますので、ありがたひと思つてゐるわ……でもねえ、芳三郎さん。こうしてお目にかかれるのも、あと幾日であらうかねえ……」

おとわは、やつと顔をあげ、半身を起して芳三郎の顔をみつめた。
「でもねえ、芳三郎さん。あたしもう、あの人に目にかゝらずに死んでいきたいわ」
おとわは、ベットに仰臥したまゝ、窓の外を、すすしい眼で見た。
紫紺の空にきらめく無数の星屑……その一つに大志賀の面輪をしのびながら、おとわは、深い溜息をついた。
「そ、そんな……大志賀さんにはあはすに死ぬなぞ、そんなべらぼうなことがあり

ますかい。大志賀さんだつて、おまへさんにとんなにあひたがつてゐるかしれないぢやないか」
「あたしね……」
おとわは、玻璃窓の外の星屑から眼を轉じて
「こんな風におもつてるの……なまじ、あたしのやうなものがある、あのひとに助太刀をたのんだりなんかするから、彼の人、それにこたはつて、いつまでも日蔭者になつてゐるのよ。あたしさへ死んでしまへばあの方は、きつと官人さんになつて、とん／＼拍子に出世するわ」

専門
産婦人科
花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

外科科一般

金成醫院

平鎌田町(電三五八)

石炭一〇〇パーセント
サーヴキス

時節柄 値下げ!

特等塊 正味五〇斤一俵 金貳拾八錢
一等塊 同 金參拾五錢
品質が優良 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局
目方が正確 高イモノニナリマス
此の点は當店を絶対に御信用願ひます
◎市内は一俵より配達致します

電話三七七番

阿部石炭商店

一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架
一、工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一、口腔外科 一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町 南町 一六(電話一七〇番)

吉田眼科病院

平鎌田町 電話一六〇番
醫學士 吉田 久雄